

第2学年 道徳指導案

令和2年2月13日（土）校時

授業者 港区立高陵中学校

OS（1組）

TS（2組）

KT（3組）

1. 主題 デジタルシティズンシップ 【内容項目 A-(1) 自主、自律、自由と責任】

2. 主題設定の理由

◎ねらいとする価値について

生徒に一人一台のタブレットがいち早く導入されたアメリカでも、SNS によりいじめ、モラルや個人の権利や法律にふれる問題が起こっていた。一方で5Gの開発に代表されるように、生徒がICT機器を使いこなすことや、STEMA 教育を進めていくこともまた同時に学校教育では求められていた。そんなアメリカでは、生徒が SNS やインターネットを活用して、モラルや社会的規範に対して責任感をもち、効果的に学習を進めていくために、デジタルシティズンシップといわれる9つの能力や資質が整理され、指導に活用されている。

本時の授業ではデジタルシティズンシップをもとに、SNS やインターネット活用して学習したり、コミュニケーションを図る際の、メリットとデメリットを検討し、よりよい SNS やインターネットの活用の仕方を考え、自主、自律的に、SNS やインターネット活用していく態度を育てたい。

3. 資料 以下に示す著作を参考に構成した資料

出典：『デジタル・シティズンシップ-コンピューター1人1台時代の善き使い手をめざす学び』

著者：坂本 旬・ 芳賀 高洋・ 富福 晋平・ 今度 珠美・ 林 一真

2020年12月15日第一版 発行所 大月書店

『スマホ脳』 著者：アンデシュ・ハンセン 訳：久山 葉子 2020年12月15日 3刷

発行所 新潮社

4. 本時のねらい

よりよい SNS やインターネットの活用の仕方を考え、自主、自律的に、SNS やインターネット活用していく態度を育成する。

5. 展開の概要

	指導の流れと主な発問	学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	・インターネットや SNS の 3 つの場面で、メリットとデメリットを紹介する。 ・インターネットや SNS と無関係に過ごすことはできないことを再確認する。 ・デジタルシティズンシップとよばれる 9 つ能力や知識が必要になることを伝える	インターネットや SNS の可能性を感じたり、問題について改めて認識したりする。 デジタルシティズンシップの能力から、問題を整理してとらえる。	自分自身にとっても社会的にみても、インターネットや SNS をどのように使用することが理想的なのか、をしっかりとイメージさせる。
展開	問 1 「学習を進めるうえで、タブレットを活用するメリットとデメリットは何か。」 資料 1・2 を提示・判読 問 2 「写真共有アプリのメリットとデメリットは何か。」 問 3 あなたが将来身に付けていきたいデジタルシティズンシップは何ですか。	ワークシートに記入し、発表する。 「すぐにわからないことを調べられる」 「勉強以外のこと以外に使ってしまう」 ワークシートに記入し、発表する。 「あこがれをもつことができる」 「自分と比較したり、投稿しないといけないと考えてしまったりする。」 ワークシートに記入し、発表する。	インターネットや SNS を使わない、という解決方法をとらせないようにする。 法律を違反したり、社会的な規範を逸脱するデジタル上の行動は検討しない。 知識を身に付けたり、客観的に自分自身を見つめなおすことで理想的な使い方ができるという自己効力感を感じられるよう、交流させていく。
終末	授業の感想記入	「デメリットとメリットを考えながら、バランスよく取り組んでいく。」	前向きに取り組む姿勢や問題解決の姿勢を大切にする。

※各クラスの担任が独自の設問を設定することがあります。